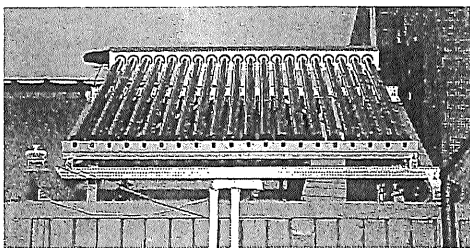
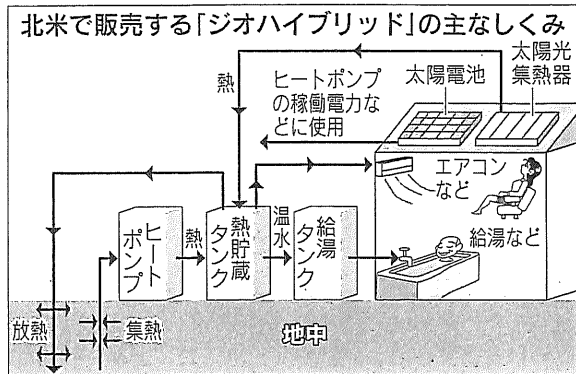


太陽光と地中熱 組み合わせ

冷暖房システム 北米開拓

アトム環境工学 米社と提携・販売

省エネルギーシステムの設計・販売をするアトム環境工学(盛岡市、岩岡重樹社長)は北米市場へ進出する。自社開発した太陽光と地中熱を組み合わせた冷暖房・給湯システムを、米国・カナダで現地企業と提携して販売する。北米ではビルや住宅の冷暖房などに自然エネルギーを使ったシステムの需要が強いことから、独自製品を武器に市場開拓を目指す。



米国の大手ヒートポンプメーカーのジオシステム(ミネソタ州)とこの

ほど、北米での販売などに関する契約を結んだ。来年1月末から同国ラスベガスで開かれる北米最大の冷暖房・空調設備に関する展示会に出展。アトム環境工学が開発した、太陽光と地中熱を組み合わせる冷暖房や給湯をするハイブリッドエネルギーシステム「ジオハイブリッド」を開発した「ジオハイブリッド」で使用する太陽光の集熱器

「ジオハイブリッド」を展示して、現地の住宅メーカーなどに売り込む。カナダ西部のカルガリーで計画が進められている、100区画以上ある戸建て住宅団地でもジオハイブリッドが採用される予定。アトム環境工学では北米市場で年間5000ユニット程度の販売を目指す。

太陽が出ているときは太陽光を、夜間や雨天時などは地中に蓄えた熱をそれぞれ取り込む。熱貯蔵タンクで熱交換をして冷暖気や冷温水を作り出す。同システムには制御器を組み込み、太陽光や地中熱の温度状況などを監視しながら、最適な熱源を選択するよう自動で切り替えるようにしている。制御器は日本から直接輸出するが、太陽光の

集熱器はドイツのメーカーに生産委託し調達することなどで、円高の影響を最小限に抑える。アトム環境工学と米ジオシステムは北米以外に、欧州市場でもジオハイブリッドの販売を検討している。アトム環境工学は自然エネルギー利用の先進地である欧米での導入実績をテコに、日本国内での販売にも弾みを